

チャペル週報

No. 7

2012.5.21～5.25

あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。

(マタイによる福音書 5：45)



大学図書館屋上より

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 5月21日(月) 神 浜 本 京 子 (京都上賀茂教会牧師)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
人 窪 田 真 人 (神学部卒業生)
聖和 聖書物語「神がモーセに現れる」
-
- 5月22日(火) ランバスチャペルアワー「神様の選び」 ランバス記念礼拝堂
神 ランバスチャペルアワーに合流
文 上ヶ原ハビタット
社 「学ぶ」とはどういうことか③ 長 松 奈美江 (社会学部准教授)
法 音楽チャペル ゴスペルクワイア P O V
経 経済と人間③ 小 林 伸 生 (経済学部教授)
商 English Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
国 高 阪 章 (国際学部教授)
聖和 永 田 雄次郎 (文学部教授)
総 関西学院聖歌隊
-
- 5月23日(水) 神 ゴスペルクワイア P O V による音楽礼拝
社 春の音楽チャペル バロックアンサンブル
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 藤 川 義 (人間福祉学部3年生)
人 上ヶ原ハビタット
国 音楽チャペル (1) ハンドベルクワイア
聖和 浅 野 友 里 (教育学部4年)
理 English Chapel Michael J. Lynn (理工学部准教授)
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 5月24日(木) 神 <キリスト教音楽に触れよう> 水 野 隆 一 (神学部教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 「学ぶ」とはどういうことか④ 水 戸 考 道 (法学部教授)
法 「音楽と新約聖書」シリーズ③ ゴスペルクワイア P O V
経 経済と人間④ 河 野 正 道 (経済学部教授)
商 音楽チャペル バロックアンサンブル
国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
聖和 聖和創立132周年記念礼拝「見えないものを見る」森本 宮仁子 (大阪聖和保育園園長)
総 関西学院グリークラブ
-
- 5月25日(金) 院 徳 田 真 二 (総合支援センター事務長)
神 小 片 聡 (神学部M1)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
人 共に生きる⑤ 永 田 雄次郎 (文学部教授)
聖和 「ひつじが一匹なくなったら」吉 新 ば ら (キリスト教教育・保育研究センター)
理 「生と死を見つめて」松 木 真 一 (宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
5月25日(金) ペンテコステ (5/27) を迎えるにあたって 山 本 俊 正 (商学部宗教主事)

近頃の若い者は・・・？

重 松 一 朗

職場の中で、自分を若手か、せいぜい中堅だと思っていると、いつの間にか「若い人たちは…」などと言っている自分に気づくことが多くなってきました。自分ももう若くないのだと感じると同時に、ただ馬齢を重ねるだけでなく、もっと年齢にふさわしい働きをせねばと思います。ただ、「若い人」云々という言葉の中には、単にその世代を指している場合だけでなく、ともすれば批判めいたニュアンスが込められていることも少なからずあります。その背後には、自分たちが若かった頃の方が、今の若い世代よりも「できていた」などという思いもあります。同僚に対してそうなのですから、もっと若い生徒らに対しては、より強くそのような思いが出てきます。

しばしば、今の若者や少年らは幼児化しているということが言われますし、自分自身もそのように感じることも多々あります。確かに、物質的に豊かな社会となり、少子化が進む中、親は子どもに手をかける余裕が大きくなりました。その結果、子どもたちの自立が遅れるのは事実でしょう。しかし、若者を批判する基準は何かと言えば、彼らの年代であったときの自分の姿です。自分ももっと我慢し努力した、そしてそれなりの成果を出せた、などと思うのです。ただし、本当に客観的にかつての自分を見ることができていればよいのですが、思い出は美化されると言われるように、往々にして昔のことを過大視していることもあるのではないのでしょうか。人は齢を重ねる毎に着実に力を蓄えていくものです。実はその現在の自分を基準にして、生徒らを含め、若い人たちを見ているのではないかと思うことがあります。

謙虚に考えると、先生方や諸先輩らの寛容で暖かい導きのもと、まだ未熟だった自分たちは育てられてきたことに気がきます。そして豊かな時を過ごすことができたことを有り難く思います。恩師や先輩の目から見れば、それこそ私自身がなっていないと叱られなければならないのでしょう。教員として、若い魂と向き合う毎日、年々、生徒らと年は隔たっていきますが、なおさら彼らの育ちゆく姿をしっかり見守り共に歩んでいきたいと思っています。

(中学部教諭)

●チャペルオルガニスト募集（神戸三田キャンパス）

関西学院では毎年チャペル・オルガニストを募集しており、本年は5月26日(土)にオーディションを行います。採用されますと個人レッスンを受けることができ、チャペルの演奏をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身につけることができます。

応募方法：「募集要項」「応募用紙」を吉岡記念館事務室宗教センター、神戸三田キャンパス事務室（I号館キャンパス担当）で受け取り、オーディションの応募用紙を提出してください。また、電子メールの添付ファイルでも受付します。

☆「募集要項」「応募用紙」がダウンロードできます。

http://www.kwansei.ac.jp/c_christian/index.html 学生団体の紹介にあります。

募集期間：5月7日(月)～5月24日(木)の事務室開室時間

お問い合わせ・資料請求：吉岡記念館事務室宗教センター

電話：0798-54-6018、E-mail：organist@kwansei.ac.jp

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパス正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。5月に入ると、関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

5月21日(月) 関西学院バロックアンサンブル

5月28日(月) 関西学院交響楽団弦楽アンサンブル

5月29日(火) 関西学院聖歌隊

6月4日(月) 関西学院大学応援団総部吹奏楽部

6月5日(火) 関西学院交響楽団管楽アンサンブル

6月12日(火) 関西学院ハンドベルクワイア

6月14日(木) 関西学院ゴスペルクワイアPower Of Voice

いずれも12時50分～13時20分

会場：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

主催：宗教センター・宗教音楽委員会

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。（18:00～18:20 1405教室）

5月25日(金) 樋口 進（宗教センター宗教主事）

6月1日(金) アンドレアス・ルスターホルツ（文学部宗教主事）

8日(金) 樋口 進（宗教センター宗教主事）

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

5月27日(日) 午前10時～11時

関西学院会館ベーツチャペル

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館内の宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。